

6月JAL争議の早期解決を求める行動 全国52か所で実施！



2023年6月23日、JAL株主総会会場前宣伝行動

支える会

発行責任者
柚木康子大田区羽田3-3-15
デラモタワー202
TEL03 (6423) 7878メール
sasaerukai@lemon.plala.or.jp

党派を超えて国会議員21名がJALに 争議解決を求める！

JALは全く誠意のない対応！

JAL不当解雇撤回争議団とJAL被解雇者労働組合（JHU）、JAL争議の早期全面解決をめざす実行委員会、JAL闘争を支える会は、各地の労働組合やこれまでJAL闘争の支援を頂いた団体に呼びかけ、6月に全国での行動を取り組みました。結果全国52か所で街頭宣伝・集会・旅行会社・労働局などへの要請行動を展開できました。この行動で争議団は一層元氣になりました。各地での皆さんの取組に感謝いたします。その様子は本ニュースの見開き頁に紹介いたしました。

またJHUが取り組む東京都労働委員会の状況、超党派の国会議員によるJALへの要請、6月23日の株主総会での取り組みなども報告いたします。

6月16日、JALに争議の早期解決を求める要請書

な対応でした。

(21名の自民党から共産党までの賛同人署名あり)を携え、国会開会中のお忙し

中、福田昭夫議員(立憲)と高橋千鶴子議員(共産)がJAL本社を訪問。事前に会社には部屋を用意するように伝えていたにもかかわらず、JHU委員長との抗議によりやっとのスペースを用意しました。役員も対応しないという非常に対応しなかつた。

たい。日本を代表する企業として人権を大事にする経営をしてください。」と要請し、社長からのコメントを求めました。しかし、後日、対応を聞いたところ何もしていないと更に不当な態度を続けています。

日本航空株式会社
社長 赤坂 祐二 殿

2023年6月16日

衆議院議員 福田 昭夫 殿

日本航空は早期に争議の解決を

貴社は、政府主導の下、2010年(平成22年)1月に経営破綻、更生計画に基づき再建が進められました。同年12月31日、更生計画が終了する2011年3月末日を待つことなく、パイロット81名と客室乗務員84名が整理解雇され、争議が13年も続いています。誠に遺憾に堪えません。

当時会長であった故船橋和夫氏が報道陣を前に「経営上解雇の必要はなかった」との報道がありました。この発言は重く、165名の整理解雇に疑問を持たせるものです。二つの裁判で争われ、また4度に亘りILO勧告が出され、現在も東京部労働委員会でも争われている事態は、もはや人権にもかかわる問題です。

そもそも、技術と経験が求められる飛行機の運航で、ベテラン乗務員を優先して解雇するやり方は、安全重視と言わざるを得ません。また、貴社は再建以降にパイロット477名、客室乗務員6325名を採用していると聞き及んでおります。ところが、被解雇者を一人も乗務員に復帰をさせていません。これは国際労働基準にも背くもので、グローバル企業として真摯な対応とは言えません。

労働争議が長引くことは、現場で働く社員のモチベーションにも悪影響を及ぼすだけでなく、利用者への心理的影響も否定できません。貴社は、我が国航空業界の礎たる立場にあります。貴社が正常な航空会社として再スタートするためには、争議を解決させて名実ともに利用者国民からの信頼を取り戻すことが不可欠です。

以上

<賛同人>

衆議院議員 江崎 徹也	参議院議員 川田 龍平
衆議院議員 小宮山 孝子	参議院議員 堀島 みずほ
衆議院議員 山本 ともひろ	参議院議員 芳賀 道也
衆議院議員 高橋 千鶴子	参議院議員 高良 鉄英
衆議院議員 穀田 恵二	参議院議員 永江 孝子
衆議院議員 松本 謙公	参議院議員 田村 智子
衆議院議員 宮本 徹	参議院議員 山添 拓
衆議院議員 早稲田 ゆき	参議院議員 大橋 ゆう子
衆議院議員 席合 貴之	
衆議院議員 下条 みつ	
衆議院議員 堀川 鉄也	
衆議院議員 石坂 茂	

2023年全国統一行動に参加して

◆6月6日に高松、7日に徳島を訪問しました。私たちの争議と、地元の支援者の皆さんの闘いが「困窮する市民の救済」という点で根っこが一緒であることを実感しました。

支援してくださる皆さんの闘いの後押しになっていることを確信できた、非常

に有意義な取り組みとなりました。またお邪魔したいと思います。

和波宏明

◆全国統一行動の静岡、博多、小倉、長崎、佐賀、羽田に参加しました。

地方では、「JALの解雇争議は終わった」と思っ

ている組織が少なくなかった。大変意義のある活動でした。活気溢れる活動でした。

榊原正好

◆6月2日新潟労働局要請はJAL争議を支える会の新代表が要請に参加して頂き実現。

3日は市内で、支える会・支援共闘会議がJAL争議の早期解決を訴えて下さい

ました。

6日は仙台、8日高知、

9日愛媛で街宣・労働局要請、集会を開催して頂きました。14日神奈川は多くの支援者が朝から夕方の桜木町宣伝まで応援して下さいました。

新潟・神奈川以外は初めて会う方達でしたが、JAL争議団を解決するという熱意と温かい力を頂きました。うたごえの仲間が歌で

宣伝を盛り上げて下さいました。

齋藤 晃

◆京都大手筋商店街や甲府駅前での宣伝行動には沢山の支援者がお集まりいただき大変勇気づけられました。しかし「もう闘いは終結したのではないか」とのコメントもあって、今後の課題を感じさせられる場面もありました。

丸山修子

◆6月、日本全国52カ所でJAL争議統一宣伝行動が行われた。桜の開花が話題になる頃、立案されたこの無謀とも言える挑戦は、不当解雇の酷さ、JALの不適さゆえ、多くの賛同者を得た。

争議が始まって13年、決して日本全国で活動していたわけではない。支援の皆さまの絆を繋いで繋いで実現した。

各地で行われた宣伝、JAL支店要請、労働局要請の報告が入るたびに、闘う人間の熱さに感激し、その優しさに感謝した。何よりその団結力は無限だ。まだまだ私たちは止めない。解決するまでJALのイメージダウンは波紋のように広がる。

JALが提出した安全報告書の数字が全て、必要なかった解雇は明白だ。JALよ、既に自爆しているのだよ、潔く矛を収めるべし！

加藤浩子

◆どこまで実現できるのか、不安に思いながらも、とにかく頑張るしかないという覚悟で臨んだ全国統一行動でした。

突然の要請の上、選挙やゴールデンウィークという条件が重なったにもかかわらず、全国52箇所で行った行動を実施して下さった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。同時に、私たちの闘いの重要性和早期解決の責任を感じています。

そして、さらに大きな運動に繋げ、JALに解決の決断をさせるとの気持ちを新たにしました。

宝地戸百合子

2023年6月
全国統一行動

6月17日 羽田空港第一ターミナル



6月1日 札幌



6月1日 広島



6月2日 岡山



6月2日 熊本



6月2日 静岡



6月3日 新潟



6月3日 宮崎



6月4日 旭川



6月4日 秋田



6月5日 埼玉



6月5日 茨城



6月6日 岐阜



6月6日 宮城



6月6日 京都



6月6日 兵庫



6月6日 香川



6月6日 栃木



6月7日 群馬



6月6日 福岡



6月7日 小倉



6月9日 愛媛



6月9日 立川



6月9日 池袋



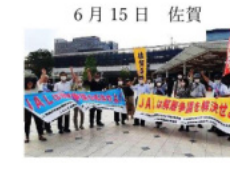
6月9日 高田馬場



6月14日 神奈川



6月15日 和歌山



6月15日 佐賀



6月16日 青森



6月8日 高知



6月20日 東京・蒲田



6月12日 有楽町



6月12日 釧路



6月18日 広島



6月19日 京都



6月19日 名古屋



6月19日 奈良



6月14日 長崎



6月21日 東京・錦糸町



今年は争議団関係者一人も指名せず！
社長も争議について一言も触れず！

6月23日、JAL株主総会が開かれました。毎年、支援者と争議団員株主が数名指名され、JAL争議について質問・発言をしてきました。しかし、今回は一人も指名せず、各争議団員株主の横には会社の総務・労務が張り付くという異常な状況でした（間違つて指名しないため?）。昨年の株主総会で2労組との解決に向けた話し合いが進んでいると発言したのだから、

どういふ結果になったのか報告すべきですが、それすらありませんでした。採決前に争議団員が2号議案に対して動議を出し、争議が継続していること、解決まで戦うことをアピールすることができました。

(以下発言内容)

「15人の方が発言しましたが、女性は最初に指名された方だけです。毎年女性の指名が少ないと言われていてるのにどうしてこうなるのでしょうか。私が動議を出したのは第2号議案（取締役9名選任の件）です。今日、解雇争議で一切質疑がありませんでしたが、私は2010年大晦日に解雇された者の一人です。私たちは余剰人員だと言われ解雇されましたが会社が出した資料から余剰でなかったことが明らかになっています。13年目の争議になっていまだ解決していません。赤坂会長も植木会長も5年前に争議を解決したい、

解決するという風にお約束して下さいました。それにもかかわらず、5年以上経つてもこの状態はどういうことでしょうか。そして会長、社長をそのまま続けられる。取締役としてその資格があるのでしょうか。ご自分たちの約束をきちんと果たして頂きたい。それだけです。私たちは13年間苦しみ続けて参りました。役員の方にはそのことにも思いをはせて頂きたいと思います。私はもちろん日本航空の発展を願っていますが、私たちはこの争議が解決しない限り人生は終われないんです。株主の皆さんもご理解をお願いします。」

東京都労働委員会は山場に！
国交省、JALに解決を
決意させるよう力を結集しよう！

現在、東京都労働委員会ではJAL（15回）と国交省（7回）を相手にそれぞれ調査が行われています。

JALは団交拒否、不誠実交渉義務違反、組合間差別（業務委託契約提案における差別）の３件で、国交省は団体交渉拒否で調査が進められています。

JAL事件については両者の主張がほぼ出そろったとし、国交省事件については国交省が組合の主張にもう反論しないとしていることから、今後は審問（裁判の証人尋問）を行うかどうかも含め、検討されることになります。

組合からは両事件の証人申請書を次回までに提出する予定です。
都労委は山場を迎えます。JALと国交省が解決を決意するよう
今後の運動に最大の結集をお願い致します！



郵振：00190 - 1 - 566599

JAL闘争を支える会

会費：個人・団体とも

1口3000円/年 複数口歓迎



* 詳細はHPで
JHUニュースを
ご覧ください。

<https://jhu-wing.main.jp/>